

図書館 だより 7月号

2023.7.1発行

発行者
新宮東中学校

今月の本

「夏といえば・・・」



『海づりにチャレンジ』
矢口高雄/監修 金の
星社 787ヨ

海派?山派?
プリアンケート
も実施中です。



7月には海の日、8月には山の日がありますね。というわけで、海と山にまつわる本をそれぞれ掲示しています。豊かな海も山もある新宮町。「あなたは、

今月の防災本

新宮東中学校は、地域の防災拠点校です。



雨の多い季節となりました。毎年のように、川の氾濫や事故などのニュースも流れています。



身近な「川」が持つ特徴を知り、その恩恵を楽しみ、いざというときには身を守れるようになりましょう。

『防災にも役立つ!川のしくみ』
日置光久/監修 川上真哉/著 誠文堂新光社 452カ

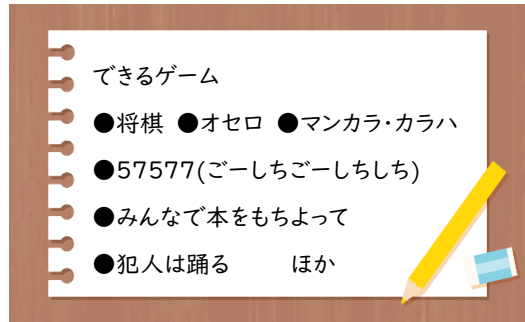
今年もあるよ! カード&ボードゲームウィーク

7月8日(月)~12日(金)の昼休みに

カード&ボードゲームウィークを実施します。

静かに過ごす印象が強い図書館ですが、ボードゲームを通して、「人と人」そのゲームに関連した「本と人」という「つながる場所」として、様々な図書館が取り組んでいる事業です。今年は、ゲームの種類が増えました!

この期間は、賑やかな館内になります。楽しい時間を自分たちの力で作り出しましょう。



ゲームボランティアを募集中!

カード&ボードゲームウィークに、ゲームの進行やカウンター業務を手伝ってくれる人を募集しています。

やること : カード&ボードゲームウィークにて、担当するゲームの進行。もしくはカウンター業務(返却・貸出)。

準備期間: 7月1日(月)~7月5日(金)

昼休みや放課後に担当のゲームをきめ、ゲームを行いつつルールを覚える。

特典 : 秋の選書会(図書館に入れる本を見本を見ながら選ぶ会)の参加券。



申込みは図書館
カウンターまで

夏休みの本は、ひとり3冊まで

夏休みの本の貸出が始まります。長い休みに、じっくり読みたい本をかりて

くださいね。しかし!その前に、いま借りている本を

すべて返却してください。

すべての本が揃った状態で、夏休みの本を選べるようにしましょう。

1学期の本返却期間: 7月8日(月)~7月10日(水)

夏休みの本貸出期間: 7月11日(木)~19日(金)

夏休みの本貸出冊数: ひとり3冊まで(借り換えOK)

おすすめ本をかりた人は「図書館ガチャポン」ができます♪



第70回青少年読書感想文全国コンクール課題図書



『ノクツドウライオウ:靴ノ往来堂』佐藤 まどか/作 あすなる書房 913サ

築100年のオーダーメイド靴店「往来堂」の店主は、靴職人の祖父。孫の夏希は、シューズデザイナーを夢見る中学生で祖父を尊敬していた。祖父がつくる靴を履いた人たちには、人生を変えるほどの変化が起こる。夏希は、それらに影響を受けながら進路を定めていく。

『希望のひとしずく』キース・カラブレーゼ/作 代田亜香子/訳 理論社 933カ

3人の中学生が古い井戸を見つけた。願いが叶うという伝説の井戸が、町の人たちに次々と奇跡を起こす!?愛と希望があふれる物語。



『アフリカで、バッグの会社はじめました寄り道多め仲本千津の進んできた道』

江口絵里/著 さ・え・ら書房 589エ

目の覚めるような原色に、花や動物、サークル模様がデザインされていて、持つだけで心が華やいてくる——人気のバッグ・ブランド「リッチーエブリデイ」を立ち上げた仲本千津さんは、いま注目の「社会起業家」です。バッグづくりを通して、アフリカの貧困問題を解決し、女性を勇気づけ、輝かせたい——迷い、遠回りしながら、自分の信じる道を歩んできた仲本千津さんの姿を描く“進路決定”ドキュメンタリー。



第70回青少年読書感想文全国コンクール ホームページより [HTTPS://WWW.DOKUSYOKANSOUBUN.JP/BOOKS.HTML#4](https://www.dokusyokansoubun.jp/books.html#4)

第68回西日本読書感想画コンクール指定図書

『きみの話を聞かせてくれよ』村上雅郁/作 フレーベル館 913ム

もやもやした気持ちやずっと抱えてきた秘密。ぼくらの心によりそって、きみは「聞かせてくれよ」と言った——親友とけんかしてひとりぼっちの六花、お菓子作りが趣味の虎之助 etc.新船中学校を舞台にした、7つのストーリーがきみの心に届く。——



『杉森くんを殺すには』長谷川まりる/作 くもん出版 913ハ

友だちだと思っていた杉森くんは、わたしに何も言わずに死んでしまった。だから——「杉森くんを殺すことにしたの」高校1年生のヒロは、一大決心をしてミトさんに電話をかけた。ミトさんは「今のうちにやりのこしたことをやっておくこと、どうして杉森くんを殺すことにしたのか、きちんと言葉にしておくこと」という2つの助言をする。ヒロは、ミトさんからのアドバイスを実践していくことにするが……。ヒロが傷ついた心を取りもどしていく物語。

『カムイの大地 北海道と松浦武四郎』泉田もと/著 岩崎書店 913イ

北海道の名づけ親、松浦武四郎の人生について、六度にわたる北海道探索を中心に、史実を元にしたフィクション。ひたすら北の大地を歩き続け、旅の途中でアイヌの人々の村を訪れ、心を通わせた武四郎。言葉、地名、自然、生活と文化…あらゆるものを記録に残し、広く世に伝えようとした武四郎が見たもの、感じたこととは?コラムでは、アイヌの人々の衣食住や武四郎が手がけた出版事業、武四郎の晩年の住居なども紹介。



第68回西日本読書感想画コンクール ホームページより <https://specials.nishinippon.co.jp/cp/kansoga/book.html>